

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 6 年度)

施設の名称	市民プラザ(日下・四条・中鴻池・若江岩田駅前・楠根・布施駅前・近江堂)			指定期間	2	年度～	6	年度	
				指定の方法	複数施設を一括指定管理				
施設所管課	市民生活部 地域活動支援室			連絡先	06-4309-3161				
設置目的	地域の特性を生かしながら、本市と市民が協働してきめこまやかなまちづくりを推進し、地域活動の活性化と市民サービスの向上を図るため設置。								
施設内容・業務内容等	市民自らの活動の場を提供し、地域の特性を生かした個性豊かなまちづくりを推進する。 施設の維持管理と貸室等施設利用。								
指定管理者	株式会社ビケンテクノ			連絡先	06-6380-2141(代表)				
人員体制	正規職員	11	人	パート・アルバイト	69	人	その他	0	人

2 管理運営状況等

年度			実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度			
管理形態			指定管理		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理	
供用(開館)日数			272or281or282or283		335		331or332or333or334or335		335or336		335or336	
指定管理委託料(千円)			265,947		286,177		272,444		276,752		未定	
利用 状況 指標	1	利用件数(件)	20,399		27,392		28,590		補足 説明	新型コロナウイルス感染症 の影響により臨時休館。 R3.4.25～R3.6.20		
	2	利用人数(人)	216,991		318,514		352,435					
	3								補足 説明			

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が75%以上、
B=×がなく75%未満～50%以上あるいは×が1個で「得点」が75%以上、
C=×が2個以上あるいは×が1個で「得点」が75%未満
「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

施設担当課のモニタリング		
モニタリングの観点	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	施設を安全安心して利用できるように、緊急対応マニュアルを整備し、他の指定管理施設で発生した事例を共有するなど、事故防止に努めている。また、施設全体でAED操作研修を実施している。 一部提出書類に不備や遅延が見受けられたため、改善いただきたい。
B 管理・運営能力 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S	施設の管理運営に必要な人員を適切に配置している。 設備等の修繕や古くなった備品の入れ替えを順次実施するなど、快適に利用できる施設環境が整備されている。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	筆談への対応や地域の特性に合わせた外国人スタッフを配置している。 利用者の少ない自主事業については、内容を見直し又は廃止している。 インスタライブなどSNSを積極的に活用し、利用者増加に取り組んでいる。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	意見箱、利用者アンケート、ホームページのお問い合わせフォーム等、利用者の声を伝える仕組みを構築し、利用者の意見を反映できるように努めている。 見やすさやデザイン性に配慮したホームページへ変更いただきたい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の削減が図られているか？	A	指定管理者が独自に施設の修繕作業を行うことで、管理運営経費の削減が図られている。 各施設で実施した事業を他の施設に情報共有できている。 利用者数や稼働率はコロナ禍前の水準に戻っていないので、今後も利用者増加に向けて取り組んでいただきたい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	職員の人員配置等について、法令等の基準を満たしている。 コンプライアンスや個人情報保護、人権についての研修を実施している。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	安全・快適に利用できる適切な施設管理・運営が行われている。 利用状況については、コロナ禍より回復傾向ではあるが、さらなる利用率向上に向けて、より幅広い年代の方に利用してもらえるような取り組みを期待する。